

「第4回気象サイエンスカフェ in 九州」開催報告

平成25年2月2日（土）第4回気象サイエンスカフェ in 九州を「風街」で盛大に開催しました。

1. サイエンスカフェの様子

今回のテーマは「北極・南極の上空 30km から日本へ、空気のメッセージ」、話題提供者は江口菜緒助教（九州大学応用力学研究所地球環境力学部門）でした。



普段接することのないオゾンホール等の成層圏の現象と温暖化など私たちの生活の日々の生活とのかかわりについてのお話でした。コーヒーとケーキをいただきながらファシリテーターの渡司キャスター（日本気象協会）の巧みなトークで、リラックスした雰囲気で行われました。

30名の事前申し込みがあり会場は満員の状態で、質問が次々飛び出してサイエンスカフェ本来のコミュニケーションの場となりました。

2. 参加者からの意見

「日ごろ聞けない成層圏の話が聞けて面白かった.」「考えてもいなかった事が、地球で起こっている事を知れてよかった.」「30人位で、この内容が学べることは貴重であると感じた.」「クイズもあり、パワーポイントが見やすかった.」など難しい話かなと思われましたが、好意的な意見が沢山ありました。

3. その他

今後に取り上げてもらいたいテーマとして、「黄砂・大気汚染物質」が18人と圧倒的に多く、次いで「台風」、「集中豪雨」の11人で時勢を反映したものとなりました。

